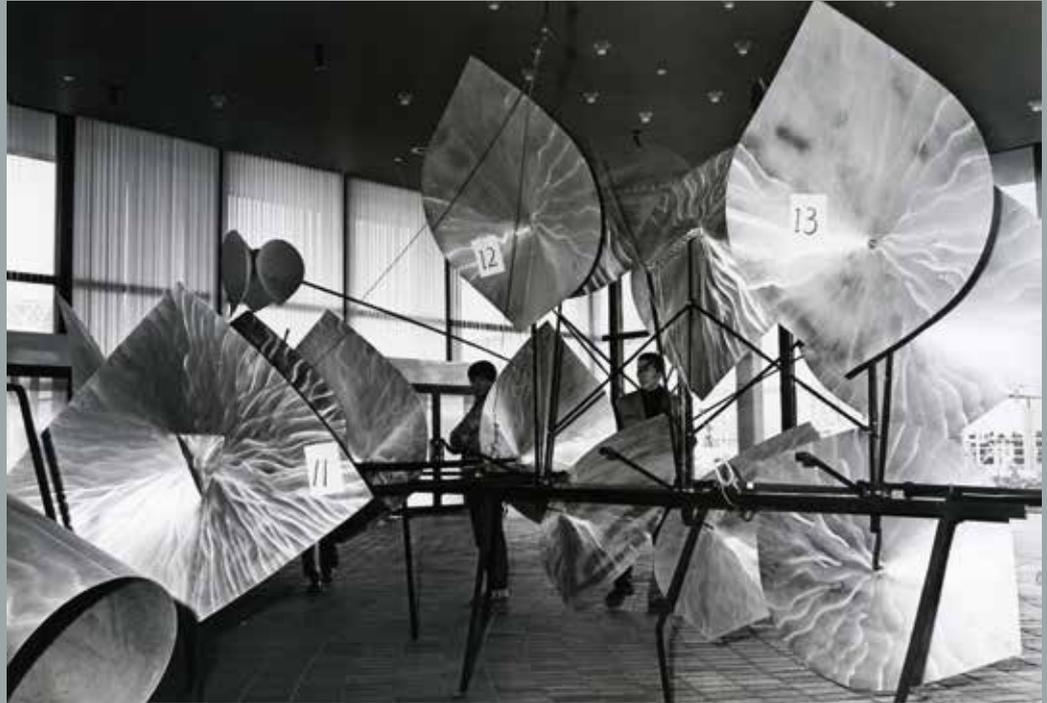


Baschet Invention



Sound

2020年11月7日(土) — 12月20日(日)

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

11:00—19:00

※月曜休館、11月23日(月・祝)は開館、翌11月24日(火)を休館

※最終日12月20日(日)は17:00終了

企画：京都市立芸術大学芸術資源研究センターバシエ音響彫刻プロジェクト
主催：京都市立芸術大学
共催：東京藝術大学ファクトリーラボ
助成：2020年度 日本万国博覧会記念基金事業助成
協力：大阪府、万博記念公園マネジメント・パートナーズ(BMP)、バルセロナ大学、
L'association Structures Sonores Baschet (フランスバシエ協会)、バシエ協会(日本)

特別企画展 | バシエ音響彫刻

Sound Structures

バシエ音響彫刻は耳に響くだけでなく、身体に共振し、心の底の何かをゆり起こす。

これは古い修復楽器ではなく、新たな発見をもたらす音の未来装置かもしれない。



《桂フォーン》《渡辺フォーン》《勝原フォーン》
《川上フォーン》《高木フォーン》
教育音具《パレット・ソノール》
新作《冬の花》、新作《RS00 プロトタイプ》

みどころ



バシエ音響彫刻

5基の大型フォーンが集結！
音出し体験もできる過去最大規模の展示



「バシエの音響彫刻」とは、ベルナール・バシエ（1917-2015）、フランソワ・バシエ（1920-2014）の兄弟によって考案された音の鳴るオブジェです。ニューヨーク近代美術館（MoMA）、パリ装飾芸術美術館など世界各地で活発に展示や演奏会が開催されました。

1970年の大阪万博において、鉄鋼館のディレクターであった作曲家・武満徹から音響彫刻の製作を依頼されたフランソワ・バシエは、来日して17基の音響彫刻をつくりました。1基1基すべて形状が異なる作品は、響かせるサウンドもさまざまで、誰もが音を出して楽しむことができるものです。しかし万博閉幕後、音響彫刻はすべて解体され、倉庫に保管されたまま世の中から忘れられていきました。約40年後の2010年、旧鉄鋼館が「EXPO'70パビリオン」として再開するのを機に、音響彫刻を修復・復元する計画が進み始めました。現在までに6基が修復され、音の出せる状態で保管されています。

本展では2013年に修復・復元された《高木フォーン》《川上フォーン》、2015年に京都市立芸術大学で修復・復元された《桂フォーン》《渡辺フォーン》、2017年に東京藝術大学で修復・復元された《勝原フォーン》が集います。また、子ども用の教育音具として開発されたパレット・ソノールや、バシエの原理を用いた小型の音響彫刻も合わせて展示します。

さらに、修復に至るまでのアーカイブの公開や、週末のコンサートやパフォーマンス公演、ワークショップなど、多彩なイベントを展開することで、個性的で鮮烈なアコースティック音を放つ構造を持ったバシエ音響彫刻の魅力をさまざまな角度から紹介し、その秘密と潜在性に迫ります。

画像提供 | 大阪府、京都芸術センター (撮影: 守屋友樹)



みどころ



研究成果

音響彫刻の修復調査や体系的なアーカイブの作成、
創造的な可能性の探求について紹介

2015年に始まった、京都市立芸術大学と東京藝術大学によるバシエ音響彫刻共同研究の道のりと修復過程、2015年より開催されているコンサートやシンポジウム等の資料展示。京都市立芸術大学の研究チームによって結成された「アンサンブル・ソノーラ」を中心に、多彩なアーティストによるコンサートやパフォーマンスを本展会期中に開催。



アンサンブル・ソノーラ



70年万博当時の展示風景

みどころ



アーカイブ映像

貴重な映像でバシエ音響彫刻を
より深く知る

映画「バシエ音響彫刻」(ジャック・バルザック監督)、70年万博当時の展示風景、音響彫刻修復後のコンサート映像(2013年、2015年、2017年、2018年、2019年セレクション)など

Concert

コンサート

オープニングコンサート

2020年11月7日(土) 15:00-

出演：渡辺 亮 (パーカッションニスト) + 袋坂ヤスオ (舞踏家)
アンサンブル・ソノーラ (岡田加津子 (作曲家)、北村千絵 (ボーカリスト)、
沢田穂治 (作曲家・ベーシスト)、渡辺亮)

ミニコンサート

2020年11月8日(日) 14:00-

出演：アンサンブル・ソノーラ

若手作曲家によるコンサート

2020年11月14日(土) 15:00-

出演：田中詩也、土方浩紗、下村 景 (京都市立芸術大学 作曲指揮専攻)
小宮知久 (作曲家/東京藝術大学芸術情報センター)

アーティスト・パフォーマンス

2020年11月15日(日) 15:00-

出演：黒川 岳 (アーティスト)
鈴木昭男 (サウンド・アーティスト)、宮北裕美 (ダンサー・アーティスト)

コンサート「よみがえる響き、ゆらめく身体」

2020年11月23日(月・祝) 15:00-

出演：角 正之 (ダンサー)、川崎義博 (サウンド・アーティスト)
アンサンブル・ソノーラ

オンライン無料Live配信特別コンサート

2020年12月12日(土) 19:00-

出演：アンサンブル・ソノーラ

配信：N.U.I.project

※オンライン配信のみ (詳細は京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAのウェブサイトをご覧ください)

Workshop

ワークショップ

みんなのためのサウンド・ワークショップ

2020年12月19日(土) ①13:00- ②15:00- (各回約60分)

講師：川崎義博、岡田加津子

定員：各回20名 (要予約)

※京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAのウェブサイトからお申し込みください

子どものためのサウンド・ワークショップ

2020年11月21日(土)

①14:00- ②15:00- ③16:00- ④17:00- (各回約30-40分)

講師：岡田加津子、北村千絵、渡辺 亮

協力：京都子どものための音楽教室

※一般のお客さまは見学のみ可

音響彫刻制作ワークショップ

2020年12月5日(土) 14:00-16:00

主催：N.U.I.project

※N.U.I.projectによるクラウドファンディングのリターンとして設定していますため、一般のお客さまは見学のみ可

Gallery Talk

ギャラリートーク

「バシエ音響彫刻 よみがえる響き、ゆらめく身体」

2020年11月8日(日) 13:00-

出演：岡田加津子 (京都市立芸術大学音楽学部教授)、川崎義博 (京都市立芸術大学芸術資源研究センター特別研究員)、三枝一将 (東京藝術大学美術学部非常勤講師/藝大ファクトリーラボ ディレクター)

International Symposium

国際シンポジウム

「子どもは身体で音を聴いている」——各国における活動報告

2020年11月22日(日) 16:00-

出演：

ピエール・キュフィニ (フランスバシエ協会会長、ベルナル・バシエ元アシスタント)、
フレデリック・フラデ (フランスバシエ協会理事長) [フランス]

マルティ・ルイツ (サウンド・アーティスト、バシエ研究者) [スペイン]

川崎義博、三枝一将、岡田加津子 [日本]

通訳：北村千絵

Playtime

プレイタイム

コンサート終了後は、バシエの音響彫刻と教育音具パレット・ソノールに実際に触れて、音を体感することができます。

※特に明記のないイベントは事前申込不要・参加無料

※各イベント前後は、準備等のため通常展示の状態と会場の様子が異なる場合がございます。また、11月21日(土)、12月5日(土)実施のワークショップの様子は自由にご見学いただけます。※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期または中止となる場合があります。予めご了承ください。

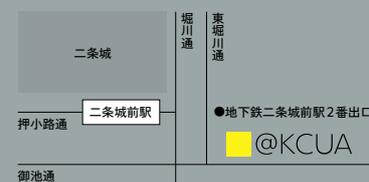
N.U.I.projectによるクラウドファンディング

バシエ音響彫刻 —音の軌跡を未来につなぐプロジェクト—

本展で行われるバシエ音響彫刻のイベントを映像収録し、音響彫刻としてのアーカイブを作成するN.U.I.projectによるクラウドファンディング。収録の様子は12月12日(土)、オンライン限定にて無料Live配信されます。

クラウドファンディングのリターン内容は、「オリジナル音響彫刻制作ワークショップ」(12月5日(土)14:00-16:00実施)へのご招待など4種となります。詳細は以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://camp-fire.jp/projects/view/300732>



会場アクセス：

〒604-0052 京都市中京区押小路町238-1

Tel: 075-253-1509

地下鉄：「二条城前」駅(2番出口) 南東へ徒歩約3分

バス：「堀川御池」バス停下車すぐ